

次世代育成支援行動計画を策定しました

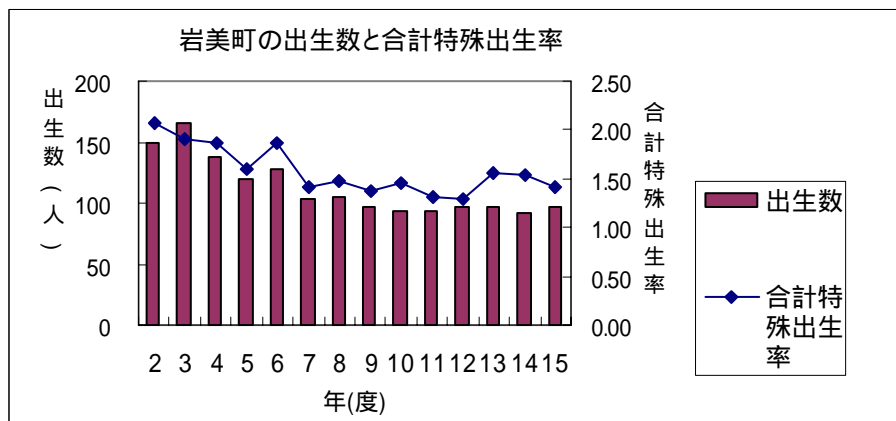
子どもは親にとってかけがえのない存在であり、社会の宝です。次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図るため、このほど『岩美町次世代育成支援行動計画』を策定しました。

Q. “少子化”って言われてるけど、現状はどんなの？

全国で1年間に生まれる子どもの数は約112万人(平成15年)で、第2次ベビーブーム(昭和46~49年)の約1/2となっており、数年後には日本の総人口が減り始めるといわれています。

岩美町でも出生数は年々減り続け、現在は100人弱となっています。

少子化の要因としては、晩婚化による未婚率の上昇、ライフスタイルの変化などが言われています。



合計特殊出生率:15~49歳までの女子の年齢別の出生率を合計したもので、女性一人当たりの平均子ども数に相当する。

Q. 少子化が進むとどうなるの？

少子化が進むと、経済や社会に次のような影響が出てくると考えられます。

労働力人口が減り、経済成長率が低下する。

社会保障分野における現役世代の負担が増大し、年金や保険の運営が困難になる。

子ども同士の交流の機会が減少し、子ども自身の健やかな成長への影響が懸念される。

Q. 行動計画ってなに？

この計画は、少子化に歯止めをかけるため、町としてどんなことができるのか、何をしないといけないのかといったことを記したもので、同様の計画を国及び地方公共団体の機関、さらに、常時雇用する労働者の数が300人を超える事業主も策定することが義務付けられています。

この計画は、「保護者が子育てについての第一義的な責任を有する」という基本的認識の下に、

楽しいよ 子育て 一緒に 親育ち 地域で応援 岩美町
~ゆとりある 豊かな子育て 未来を築く~

を基本理念として策定しています。

そして、次の7つの柱を立て取り組んでいきます。

1. 地域における子育て支援

子育て支援センターを中心に、地域とのつながりを強化します。

- (1)地域における子育て支援サービスの充実
- (2)保育サービスの充実
- (3)児童の健全育成の推進 など

2. 母子の健康の確保

安心して出産・子育てができる環境をつくります。

- (1)子どもや母親の健康の確保
- (2)「食育」の推進
- (3)思春期保健対策の充実
- (4)小児医療の充実 など

3. 教育環境の整備

家庭・学校・地域が連携し、子どもたちを育成する地域社会づくりを推進します。

- (1)次代の親の育成
- (2)学校の教育環境の整備
- (3)家庭や地域の教育力の向上 など

4. 生活環境の整備

子育てにやさしいまちづくりを推進します。

- (1)良好な居住環境の確保
- (2)安心して外出できる環境の整備など

5. 仕事と家庭の両立

男性を含めた働き方を見直し、仕事と家庭の両立を支援します。

- (1)男性を含めた働き方を見直し
- (2)仕事と子育ての両立を支援

6. 子どもの安全の確保

子どもが、事故や犯罪に遭わないように環境の整備を図ります。

- (1)不慮の事故防止への取り組み
- (2)交通安全の確保 など

7. 要保護児童への対応

支援や保護が必要な児童・保護者への対策の充実を図ります。

- (1)児童虐待防止策の充実
- (2)ひとり親家庭等の自立支援の推進
- (3)障害児施策の充実



問い合わせ先：役場住民生活課 TEL73-1415